

## H-2 熊野古道伊勢路

【山行日】2021年10月28日

【CL】3611 【参加者】1935 2131 2140 2196 2495 2568 3008 3041 3252 3264 3367 3395  
3473 3499 3586 3599 3611 3613

【コース】田丸城 9:30…10:40 東外城田神社…11:30 永昌寺…12:15 多気 SA (昼食)  
12:50…12:55 女鬼峠…13:40 展望台…15:00 柳原観音…16:00 日進公民館

第一回目の伊勢神宮から出発した熊野古道伊勢路は4月25日に行われた。それ以来、コロナの影響などで、この日10月28日まで延期された。秋晴れの少々暑いぐらいの季節であった。前回の到着地、田丸 9:30 に出発し、東外城田神社を經由して、永昌寺に向かった。曹洞宗の寺院で本尊は室町時代の作とされる千手観音立像である。

多気サービスエリアで昼食後は「大台町ふるさと案内人の会」の会長、筒井敏氏の案内でゴールまで詳しい解説をしていただきながら、歩くことができた。

女鬼峠は「はるか遠い熊野より伊勢神宮を目指す最後の峠」とある。我々はその逆、熊野への最初の峠である。千枚岩を掘削して切り開いた「切り通し」をぬけて峠を越える。山頂付近には如意輪観音像があり、展望台からは熊野から続く山々が幾重にも重なって望まれる。



浄保法師は伝染病に苦しむ村人のため、自ら生き埋めになって仏の救いを祈ったとある。石の地蔵には写真の右のような由来がある。15:00には、本日最後の見どころ柳原観音泉福寺に到着。本尊の観世音菩薩は聖徳太子の神勅によるものと言われている。そこから1805年創業、宮川の伏流水を使った伝統の酒造りを守っている元坂酒造(酒屋八兵衛)を通過、ゴールである日進公民館に16:00に到着した。(3613)

女鬼峠を下ってからの道は。古い街並みが続き、石の地蔵、浄保法師五輪塔、寺子屋跡、大神宮寺相鹿瀬寺跡、などが見受けられ、昔の人が辿った跡が偲ばれる。

